

## 進路学習「働く人に学ぶ」



★こんな勉強しました。古田中学校★

9月30日（土）、1年生の進路学習「働く人に学ぶ」が行われました。これは、保護者や地域の方々など身近な人の職業についてお話を聞くことにより、子どもたちに未来の夢や展望を持たせたいとの目的で昨年度から始まりました。今年も美容師さん、イラストレーター、弁護士、左官屋さん他さまざまな分野から19名の方々に講師としておいで頂き、生徒たちは自分の興味ある職業ごとに9講座に分かれ、何故今の職業を選んだか、夢をかなえる為にどんな事をしてきたかなどのお話を聞きました。

### 生徒の感想文から

#### 金型製造と新聞記者講座について

やっぱりどんな仕事でも、信頼関係や友人との関係が大事であり、難しいのである。そして、仕事をするの思いはみんな一緒である。僕の父も金型製造をやっている。Tさんと同じ「物を作る楽しさ」という思いを持っている。

また、新聞記者はどんなときでも取材に行き行って写真を撮るといやる気がすごいと思った。仕事の厳しさは何時間もかけて書いた記事が部長や先輩に「ダメ」と言われたり、「読む価値なし」と言われたり辛いことがいっぱいなのだ。でも、それをやり通すTさんのやる気がすごい。僕も部活などを最後までやり通していきたい。これからもがんばるぞ！（一年男子）



#### イラストレーターと老人ホームの経営者について

今日、二人の講師の人に話を聞いて、二人の間に共通していることは、なりたい、やりたいと思ったことを最後まであきらめずにがんばるということでした。

Tさんのお話では、自分流に色づけや話を考えるということで、「自分の力で」という言葉が印象的で、すごいなあと思いました。

Aさんのお話では、やっぱり老人に優しく接してあげたりする事も大切だし、老人ホームの人たちが感謝してくれるのがうれしいということで、実際、私も体験したことがあるので、同じように思いました。（一年女子）

普段の学校の授業からは学べない貴重な時間の中で、ちょっぴり緊張していた生徒たちは、それぞれにいろいろな事を学び取ったようでした。仕事に対する意欲、きびしさ、楽しさ、それらを持続する精神力、また他人に対する思いやりや信頼の心など、様々な思いが、しっかりと焼き付けられたようです。（古田中学校PTAパソコン実行委員会）



### 西区公民館ネットワーク事業

## まちを走るデコレーションバス



リボンで包まれたようなデコレーションバス

師走の夕暮れ、JR西広島駅前のバス乗り場。家路に急ぐ人々をよそにこの日を楽しみにしていた子ども連れの家族が集まります。子どもたちはクリスマスの雰囲気たっぷりのデコレーションバスに乗り込みます。バスからはクリスマスソングが聞こえてきます。

ドライバーはサンタクロース  
車掌は公民館の職員さん

12月18日と20日から22日まで、区内の公民館5館を巡るバスツアーが行われました。公民館には地域の皆さんから寄せられたペットボトルや空き缶などで作られたリサイクルアートが展示されており、この催しを通じてリサイクルについて考えてもらうために企画されました。

### さよなら2000年

#### 己斐上公民館

#### フルーツとマリンバのミニコンサート

午後5時半に出発したデコレーションバスは、ほぼ2時間をかけて最後に己斐上公民館に立ち寄ります。

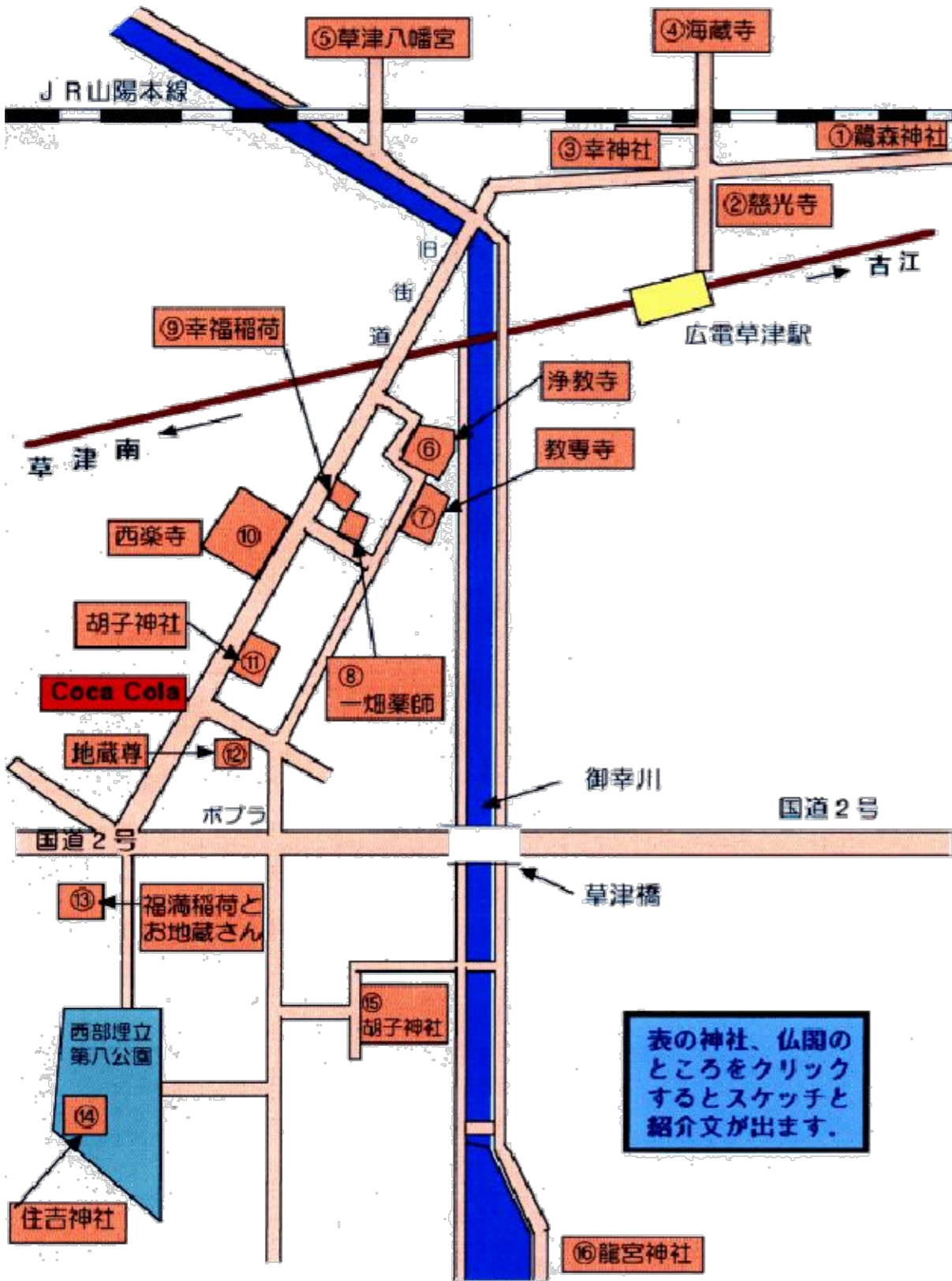
12月21日午後7時から、己斐上公民館入り口ホールで「フルーツとマリンバのミニコンサート」が開催されました。落ち着いたイルミネーションの中、立ち見のでるほど約60の方が集まり、一足早く心温まる音楽のクリスマスプレゼントが贈られました。



星にちなんだ静かな音楽やアニメの曲などが演奏され、参加者はうっとり、また楽しく聞き入りました。

### 歴史のまち草津 神社・仏閣めぐり

正月、歴史のまちをぶらぶら。すがすがしく、どことなく潮の香りと昔ながらのたたずまいが心を洗ってくれます。西国街道をてく、てく、てく……。いかがですか。



草津の神社・仏閣のほのぼのと何とも言えないいい感じのスケッチ16点を平山文俊さん(西区草津梅が台)からホームページへ寄せていただきました。左の地図の神社・仏閣のところをクリックすれば、スケッチと説明が画面に大きく表示されます。この「コミ協だより」にすべてを掲載できないのが残念です。



⑧一畑薬師如来(いち はた やくしにょらい)  
幸福稲荷の世話係の好意により、幸福稲荷の裏方にお堂を移し、今でも眼病にご利益がある「薬師」として、遠近より信者の焚く香の絶え間がない。

④久遠山、海蔵寺(くおんざん、かいぞうじ)  
応永年間(西暦1394~1427年)中国の僧慈眼が創建したといわれている。曹洞宗になったのは永正元年(西暦1504年)になってからだといわれている。毛利時代は草津城主児玉就方の菩提寺となり厳島合戦の時は毛利の陣所に、天正16年(西暦1588年)毛利輝元上京の折り当寺で宿泊する。又、幕末の長州征伐の談判を当寺で行なう。墓所には東城浅野家累代の墓(五輪塔)や北条氏直の墓や尼子方の武将、山中鹿之助の二女、盛江の墓がある。元禄二年(西暦1689年)に造られた石組(いわぐみ)の庭がある。毎年8月10日の「観音様縁日」法要の時、大数珠を繰る行事がある。



⑤草津八幡宮(くさつはちまんぐう)  
当地の氏神様で、推古天皇(西暦625年)の頃は現在の神社の下は海浜で、そこに多紀理姫乃命を祀ったのが創祀といわれている。12世紀に八幡神が合祀され現在に至っているが、秋の祭りに繰り出す三台の神輿による「けんか祭」は大変荒く、威勢が良く有名で神社の約180段の石段を登るのはきついが、草津の町や安芸の小富士、厳島を一望することが出来る。

説明文は、草津のまちを愛する会・昔なつかし写真倶楽部による「ようこそ草津へ 神社・仏閣てくてくマップ」から引用させていただきました。